

V.

## 災害時要援護者支援マニュアル

国分寺市では、災害時に地域からできる限り犠牲者を出さないようにするため、自力での避難が困難な方を対象に、地域の支援者（民生委員・児童委員、社会福祉協議会、国分寺消防署、国分寺消防団、自治会・町内会）が安否確認や避難の介助を行うための「災害時要援護者登録制度」を設けています。

■西町友和会としてはこの市の登録制度に登録している、いないにかかわらず、要望のあった要援護者を支援する体制を作っていきたいと考え、市のマニュアルを参考にこのマニュアルをとりまとめました。

平成28年2月1日制定

国分寺市 西町友和会

## 【対 象】

■西町友和会では、各会員に事前に災害時に援護を必要とするかどうかのアンケート調査を行い、援護の要望があった方、会員を第一の対象とし要援護者としています。また、会員から要望があれば、その都度、要援護者として対象に加えるものとします。

\* 災害時要援護者とは、

市のマニュアルによりますと、災害が発生したとき、自分ひとりの力で避難することが難しく、避難後の生活に何らかの支障が生じやすい方々のことです。

具体的には、

- ①65 歳以上で一人暮らしの方
- ②寝たきりで自力歩行が困難な方
- ③心身等に障害のある方
- ④その他の理由で支援を必要とする方です。

## 【西町友和会地域の支援活動について】

大地震など大きな災害が発生したときは、いろいろなところで火災が発生したり、家屋等の倒壊で道路が寸断されたりするため、消防・警察や市役所の救助活動が遅れる場合があります。そのようなときに一番頼りになるのが地域の支援者です。

■西町友和会では、予め要援護者として災害時に援護を必要とする方に対して、

- ・災害時の安否を確認すること
- ・災害時に正確な情報を伝えること
- ・避難先を知らせること
- ・避難時の介助をすること

についての支援活動を行います。

## 【支援者（誰が確認するか）】

■西町友和会は、要援護者の近所の複数の会員および各班の理事、防災委員、防災部長を支援者と定め、災害発生時の状況（昼間、夜間等）により臨機応変に要援護者のお宅に駆け付け、まず安否の確認をするものとします。

支援者には事前に【安否確認カード】を配布しておく。

最初に要援護者のお宅に確認に行った支援者が【安否確認カード】に必要事項を記入の上、要援護者宅の見やすい場所に貼るものとする。

## 【支援者の災害発生時の活動手順】

■西町友和会支援者の災害発生時に於ける基本となる活動手順を記します。

### ①震度5弱以上の地震が発生した場合に活動を始めます。

\* 市役所に設置された気象庁の震度計が震度5弱以上の地震を感知すると、無線設備が自動的に起動し、市内 41 ヶ所に設置してある防災行政無線から発生震度をお知らせします。同時に市としても国分寺市地域防災計画における市の活動基準に基づき災害発生時の緊急体制に入ります。また、西町友和会の避難先である地区防災センター（国分寺市第二小学校）も避難場所としての開設準備に入ります。

### ②まずご自身・ご家族および周囲の安全を確認してください。

\* 自宅の被害状況、周りの状況を確認し、ご家族の状況確認、安全確保を第一に考えて行動してください。

### ③地震の揺れがおさまリ、外に出ても安全な状況であれば支援体制を整えて活動を開始します。

\* ブロック塀、切れた電線、割れたガラス等には十分に注意してください。

### ④支援活動は二次災害を防止するため極力2人1組で行ってください。緊急時につき、家族や近隣の方に協力を依頼してください。

\* 要援護者の支援者として近所の複数の会員および各班の理事、防災委員、防災部長を指定しておりますが、災害発生時の状況（昼間、夜間等）により臨機応変に対応する必要があります。自身の安全、家族の安全、自宅の安全が確認された支援者が要援護者のお宅に駆け付け、まず安否の確認をするものとします。

### ⑤要援護者の自宅に行き、安否確認を行う。

\* こちらの呼びかけに応答が無い場合、家の中に入ることが可能であれば中に入って確認をしてください。（余震等で家屋の倒壊危険があるときは、無理をせず中に入らないでください。）また、救助が必要なときは近所の方々、友和会地区本部の会長、防災部長に応援を呼びかけてください。

⑥確認が終了したら事前に支援者に配布してある【安否確認カード】に必要事項を記入の上、要援護者の自宅表札付近やポスト、門扉等見やすいところに貼ってください。

\*最初に到着・確認した支援者が貼ることによって、その後に行った支援者の確認作業が迅速にできる。

⑦支援活動により得た要援護者の安否確認情報を「西町友和会地区本部」の会長、防災部長に報告してください。

\*震度5弱以上の災害が発生した場合、西町友和会地区として「西町友和会地区本部」を市の「地区防災センター（国分寺市第二小学校に開設される）」の下部組織として立ち上げますので、確認された支援者の方はそこに要援護者の安否確認情報、および状況の報告をお願い致します。

⑧安否が確認されたら、西町友和会としての避難行動に沿って要援護者を支援しながら避難を行う。

\*西町友和会地区の避難先として、「国立市第四小学校」および国分寺市地区防災センターとしての「国分寺市第二小学校」があります。

\*避難所である国分寺市地区防災センター（国分寺市第二小学校）での避難生活も地区単位で行われるため、出来るだけ西町友和会地区としてまとまった上での避難行動が望ましいとされています。

⑨地区防災センター等、避難場所での生活も西町友和会として配慮、支援を行う。

\*要援護者の方で一般の避難所である「国分寺市地区防災センター」での滞在が不可能な場合、二次避難所である「福祉避難所」での滞在が可能な場合もあります。

## 【安否確認カードについて】

支援者の方へ事前にお渡ししている【安否確認カード】は災害時に要援護者の安否並びに避難完了済み等が確認できた場合に、最初に確認した支援者が【安否確認カード】に状況を記入して要援護者宅の表札付近やポスト、門扉等の見やすい場所に掲示するものです。

(内容)

\* 要援護者の氏名記入

\* 状況を記入する。

(例) 無事で住宅にも被害等なく自宅内にいる。

(例) 要援護者は無事だが住宅は倒壊危険があるため地区防災センターに避難している。

(例) □□□□に避難している。

\* 確認者(支援者)の氏名記入

\* 確認した日時を記入

\* その他

(安否確認カード サンプル)

<p style="text-align: center;"><b>【安否確認カード】</b></p> <p style="text-align: center;"><u>〇〇〇〇〇〇は、</u></p> <p style="text-align: center;">(要援護者の名前又は家族名)</p> <p style="text-align: center;"><u>□□□□へ</u></p> <p style="text-align: center;"><u>避難しています。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>無事です。</u></p> <p style="text-align: center;">〇日〇時〇分確認</p> <p style="text-align: center;">確認者〇〇〇〇</p> <p style="text-align: center;">西町友和会</p>
---

【現在の要援護者と支援者】

【その他】

■西町友和会防災情報地図

\* 西町友和会の防災地図を最新のものに更新し、要援護者のお宅に印をつけておく。